

2022年7月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2022年7月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに持ち直している。6月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は改善した。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱めの動きとなっている。輸出は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、高めの水準にある。個人消費は、感染症の影響が和らぐもとので、持ち直している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

こうした中で、生産は、持ち直している。雇用情勢をみると、労働需給は、持ち直しの動きがみられている。

【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	持ち直しのペースが鈍化している。	緩やかに持ち直している。	
需要項目	公共投資	増勢が一服している。	弱めの動きとなっている。
	輸出	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
	設備投資	高めの水準にある。	高めの水準にある。
	個人消費	感染症によるサービス消費を中心とした下押し圧力が和らぐもとので、緩やかに持ち直している。	感染症の影響が和らぐもとので、持ち直している。
	住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
生産	持ち直しの動きが一服している。	持ち直している。	
雇用	労働需給は、持ち直しの動きがみられている。	労働需給は、持ち直しの動きがみられている。	

2. 需要項目別動向

公共投資は、弱めの動きとなっている。

輸出は、横ばい圏内で推移している。

設備投資は、高めの水準にある。

2022年度の設備投資計画は2021年度を下回るものの、業績回復に伴う前向きな設備投資の拡がりから、例年と比べて高めの水準となっている。

個人消費は、感染症の影響が和らぐもとので、持ち直している。

衣料品や高額品の販売は、堅調に推移している。飲食業や旅行・観光関連業種は、人出が増加するもとので、持ち直している。この間、食料・日用品の販売では、一部で消費者の節約志向の強まりがみられるが、全体としては底堅く推移している。

一方、乗用車販売では供給制約による自動車減産の影響が続いている。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

3. 生産

生産は、持ち直している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	減速している。
	電炉	増加している。
化学	高水準で推移している。	
セメント	横ばい圏内で推移している。	
住設機器	緩やかに増加している。	
電気機械	一部に供給制約の影響を受けつつも、高水準で推移している。	
電子部品	増加している。	
自動車	足もと供給制約が和らぐも、回復に転じている。	

4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、持ち直しの動きがみられている。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、2%台前半となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回って推移している。

以 上